

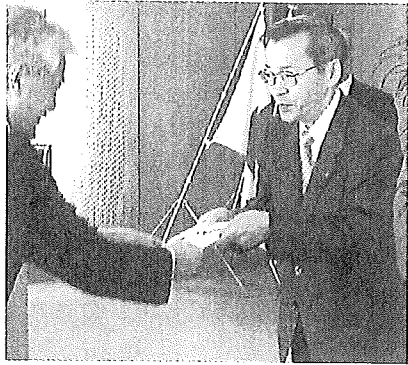
4/17

各企業の社会貢献

帯広市に対し3台を

札幌、釧路市合わせて合計9台

宮坂建設工業が車いす寄贈



【帯広発】宮坂建設工業(株) (帯広、宮坂寿文社長)は十六日、帯広市役所に車いす三台を寄贈した。小林俊昭副社長、高道伸常務ら四人が市役所を訪問。砂川敏文市

長に目録を手渡した。写真。

同社では、昨年から会社や各現場内で発生する廃品のリサイクルに際し、回収業者との間でポイント制を取り決め、ポイントを貯めている。三月末までに五十四万三千五百ポイントを貯

め、前会長の「世のため人のためにつくせ」の精神に則り、地元・帯広市をはじめ、札幌市、釧路市の三市に各三台計九台の車いすを贈ることに決めた。昨年に引き続き、ことしで二回目。

この日、帯広市役所を訪れた小林副社長は砂川市長に目録を手渡し、その一方、砂川市長から同社に感謝状が贈呈された。小林副社長は「先代から社会貢献を重要視している。少しでもお役に立てれば」と話し、高道常務は「台数は少ないかもしれないが、今後も寄贈を続けていきたい」と意欲を語った。砂川市長は「企業としてこのような社会貢献の活動

をしていただけることは大変ありがたい。市内の施設で有効に活用させていただく」と感謝していた。なお、帯広市に寄贈された三台は、市内の特養老人ホームなどで活用される予定。二十一日には釧路市に、二十三日には札幌市に、それぞれ三台を寄贈する。

建設

4/17

車いす3台を 帯広市に寄贈

宮坂建設工業

【帯広】お年寄りや体の不自由な人に役立ててもらおうと、宮坂建設工業（本社・帯広、宮坂寿文社長）は16日、帯広市に車いすを寄贈した。

建設廃材などを処理する際に廃品回収業者からもらったりサイクルポイントを活用して購入した。公共工事を請け負っていることへの感謝と、高齢化社会の福祉を向上させたいとの思いを込め、昨年と同じ3台を用意した。

この日、小林俊昭副社長が砂川敏文市長に目録を贈呈。市長から感謝状



を受けたり写真。

小林副社長は、社会貢献に熱心だった先代社長の遺志を受け継いでいることを説明。砂川市長は「企業として社会貢献活動の必要性を感じていた。だがありがたい。（リサイクル活動を伴う取り組みは）環境負荷の低減にもつながる」と謝意を述べた。

車いすは市内の特養老人ホームや養護老人ホームで使われる。同社では、支店のある札幌市や釧路市でも同じ台数の寄贈を予定している。